

戦後 80 年 戦争をする国にさせない

宮澤・レーン事件を語り継ぐつどい
戦時下の宗教統制と弾圧

道内キリスト教会の戦争責任と戦後の歩み

2025 年 7 月 12 日(土) 14 時～16 時 30 分
(開場 13:30)

会場:札幌北光教会 札幌市中央区大通西 1 丁目 14 TEL011-241-3614

講演 1 「戦後 80 年 戦時下の教会を取材して」

伴野 昭人氏 (北海道新聞報道センター編集委員)

講演 2 「『世にある教会』を目指して

— 豊平教会の分かち合い活動と平和」

稲生 義裕氏 (日本キリスト教会豊平教会牧師)

講師プロフィール

伴野昭人 (ばんの・あきひと) 氏

1964 年北海道生まれ。90 年北海道新聞社入社。論説委員、文化部長などを経て昨年 4 月から現職。
元宮内庁担当。戦後 70 年の時は天皇の海外慰霊に同行取材。
著書に『マッカーサーへの 100 通の手紙』『北海道開発局とは何か』など

稲生義裕 (いのう・よしひろ) 牧師

東京都新宿区出身。東京神学大学から日本基督教団牧師を経て、日本キリスト教会牧師。74 歳。
地域の人々との連帯を求めて、食べ物分かち合い活動、会堂を地域の共有財としていく取り組みを
続けている。教会の戦争責任の受け止めが動機の一つになっている。

資料代 500 円 予約・問合せ メール yutaka.t.00000@gmail.com ☎090-2818-9774 田中豊

主催 宮澤・レーン事件を考える会 共催 札幌北光教会平和・人権委員会

カトリック札幌教区正義と平和協議会